

『国際人間学フォーラム』 投稿規定（2018年度版）

1. 【応募方法】

- (1) 投稿するにあたり、応募用紙および原稿を、編集委員長 D3・林のメールボックス（25号館・国際人間学研究科事務室内）に締切日必着（2017（平成29）年12月29日・金曜日）で提出すること。
- (2) 応募用紙には以下の事項を明記すること。
 - ①氏名（日本語表記（漢字・カナ）、英語表記（ローマ字））
 - ②所属（専攻名および前期・後期課程）
 - ③指導教員名（もしくは推薦者名）
 - ④連絡先（E-mail、携帯電話）
 - ⑤原稿の種類（論文・研究ノート・書評）
 - ⑥題名（英文表記を付ける）
 - ⑦要旨（800字以内）

※修士論文要旨は応募用紙を省略できる

2. 【制限枚数】

- (1) 和文は、400字詰め原稿用紙に換算して以下に従うこと。
 （必ず余白なしの偶数頁で終わること）（A4版用紙 1行40字×40行=1,600字）
 [論文] 32枚以上80枚以下（A4 8～20頁）
 [研究ノート] 16枚以上40枚以下（A4 4～10頁）
 [修士論文要旨] 16枚（A4 4頁）[本文は6,200字 残りはテーマ、専攻、名前]
 [書評] 8枚以上16枚以下（A4 2～4頁）[本文は3,000字～6,200字]
- (2) 英文は、原則として[1行65字、ダブルスペース32行]とする。
 [論文] 60枚以内 [研究ノート] 30枚以内
- (3) 規定違反のものは不採用とする。

3. 【書式】

- 文字の大きさを10.5（ポイント）とし、A4版用紙（縦方向）に原則横書きで印字する
- ※ 日本語学、日本文学、歴史学等は縦書きも可とする。
 - ※ A4版用紙 1行40字×40行=1,600字

4. 【査読】

- (1) 論文・研究ノート・書評の執筆者は、事前に各自指導教員またはそれに準ずる者1名に投稿原稿に対するコメント及び押印をもらい、推薦書として提出すること。
- (2) 推薦書の「コメント/評価」欄には、指導教員等の手による投稿原稿がもつ研究上の意義を明記すること。
- (3) これをもって査読とする。

5. 【原稿の提出】

- (1) 以下の提出物を全て揃えて「完成原稿」とする。
 - ①打ち出した原稿2部（A4 版用紙）
 - ②推薦書（4. 【査読】（1）を参照）
 - ③原稿データファイル（ファイルは「Microsoft Word」または「一太郎」に限る）
- (2) 「完成原稿」の提出方法
 - ①・②は委員長 D1・中垣のメールボックス（25号館・大学院事務室内）まで提出。
 - ③はメールアドレス「yhayashi_1988@yahoo.co.jp」へ文書ファイルとして添付、送信。

6. 【図表・写真】

論旨の表現において必要なものに限る。

7. 【注・参考文献】

- (1) 注、参考文献は本文末に一括して記すこと。
- (2) 注番号は連番とすること。
- (3) 参考文献の書き方は、原則として以下の方式に従うこと。

単行本の場合：著者名（姓前名後）（出版年号西暦）『本表題』出版社名。

雑誌論文の場合：著者名（姓前名後）（年号）「論文表題」『掲載雑誌名』巻：ページ。

単行本の中に掲載された論文の場合：

著者名（姓前名後）（年号）「論文表題」編者名『本表題』発行所、ページ。

[参考文献例]

趙寛子(2007)『植民地朝鮮 / 定刻日本の文化連関—ナショナリズムと反復する植民地主義—』有志舎。

- * 外国語の場合も日本語に準ずるが、年号は（ ）に入れず、ピリオドで区切ること。
出版社の前に出版地を入れること。

Vlastos, Stephan. 1986. *Peasant Protests and Uprisings in Tokugawa Japan*. Berkeley. University of California Press.

- (4) 上記のほか、章立て、見出し、引用、注、参考文献などの表記は、各学問領域における慣行に拠ることも可能とする。

8. 【ウェブ掲載】

- (1) 本誌に掲載されたことにより、学術情報リポジトリへの公開の承諾を得たものとする。

9. 【投稿資格者】

- (1) 原則として研究科内の院生とする。

* 投稿原稿について、採否の最終的な決定権は編集委員会にあります。

* 「完成原稿」は返却いたしませんので、ご注意ください。

* お問い合わせは編集委員・(E-mail: chubuforum@sti.chubu.ac.jp) までお願いします。